

問 子供の健やかな成長のために

答 社会全体で取り組む課題とする



滝 健一 議員

市長へ質問
 問 児童相談所の児童虐待の相談対応は毎年連続して増加している。虐待しないさせない意識を根付かせる取り組みは。

答 虐待防止のパンフレット、市報等での周知徹底、虐待対応研修、地域の見守りの充実に取り組んでいる。また、1月から東松島市子育て世代包括支援センターを設置し対応している。
 問 自ら命を絶つ子供の報道が多い、子供のSOSを見逃さず救いの手差し伸べることの大切さについて。



答 子供のSOSを見逃さないため、地域住民や関係者への研修会や、自死予防のための普及啓発等を実施する。
 家族や学校だけではなく、社会全体で取り組む課題として、子供の命を守る環境づくりに努めていく。

教育長へ質問
 問 いじめなど発生しにくい環境づくりのための努力や模索について。

答 児童生徒の健全な心を育てる教育が重要であり、好ましい学級づくりや集団づくりとともに、道徳教育を充実させることが大切である。
 児童生徒を全教職員が見守り、学級担任を孤立させず、風通しのよい職員室づくりが必要である。



▲虐待しないさせない意識を市民全員で持とう

問 JR東矢本駅における諸課題について

答 独自の要望活動を検討する



熱海 重徳 議員

市長へ質問
 問 JR仙石線の増便および停車駅の改正について。

答 増便および改正については、本市が構成員となっている「仙石線整備促進期成同盟会」および「宮城県鉄道整備促進期成同盟会」を通じて、毎年JR東日本仙台支社および宮城県に対して要望を行っている。特に東矢本駅については、震災以前から通勤・通学などの利用者が多く、仙石線の快速列車停車駅であったこととともに、震災後駅北側におおい団地が整備され電車の利用対象者が増加していることから、これまで継続的に要望してきた。しかし、いまだ



▲増便が求められる東矢本駅

改善が見られず、時間もかなり経過していることから、今後は市独自の要望活動も検討していく。

問 JR東矢本駅の北側出入口および周辺整備について。

答 北側出入口整備については、以前の協議で財源や安全確保の技術的検証、近隣踏切の閉鎖等の課題が投げかけられ、具現化は難しいと判断した

経緯があり、現時点では矢本駅南北通路の整備を優先で進めたいと考えている。

また、周辺踏切整備においても、JR側から1廃止1改築の原則を主張され協議が難航している。しかしながら駅利便性の向上や災害時避難路の確保等から市としても課題と捉えており、今後も粘り強く要望していく。